

もくじ

- ・ つるのおんがえし

# つるのおんがえし

げんさく 原作：にほん 日本むかしばなしの昔話

イラスト：kotokoto

へんしゅう 編集：YellowBirdProject

むかしむかし、<sup>やまおく</sup>山奥の<sup>ひとざと</sup>人里は<sup>むら</sup>なれた<sup>やすけ</sup>村に、弥助と  
いう<sup>わかもの</sup>若者が、<sup>ひとり</sup>一人で<sup>す</sup>住んでいました。

ある<sup>ひ</sup>日、<sup>ふゆ</sup>冬の<sup>ゆきふか</sup>雪深い<sup>やま</sup>山へ、<sup>やすけ</sup>弥助は<sup>ひとり</sup>一人で<sup>か</sup>狩りに  
<sup>で</sup>出かけました。その<sup>かえ</sup>帰り道。<sup>やすけ</sup>弥助は、<sup>はね</sup>ばたばたと<sup>はね</sup>羽を  
<sup>な</sup>鳴らしながら、<sup>た</sup>田んぼの<sup>なか</sup>中で<sup>くる</sup>苦しんでいる、<sup>いちわ</sup>一羽の  
<sup>み</sup>つるを見つけました。つるは<sup>はね</sup>羽に<sup>や</sup>矢が<sup>さ</sup>刺さり、<sup>けが</sup>ケガを  
して<sup>と</sup>飛べなくなっていたのです。

ふ<sup>おも</sup>びんに<sup>やすけ</sup>思った<sup>やすけ</sup>弥助が、<sup>はね</sup>つるの<sup>や</sup>羽から<sup>ひ</sup>矢を<sup>ぬ</sup>引き抜く  
と、<sup>ぶ</sup>つるは<sup>じ</sup>無事、<sup>そらたか</sup>空高く<sup>と</sup>飛び<sup>た</sup>立っていきました。





5

その夜、だれかが家の戸をたたいているのに  
気がつき、弥助は目を覚ましました。

「こんな夜中に、いったいだれだろう？」

弥助が戸を開けると、そこには一人の若い娘が  
立っていました。

「町に働きに出る途中なのですが、この雪で、  
道にまよってしまいました。一晩だけこちらで泊めて  
いただけませんか」

「ええ、かまいませんよ。お入りください」

娘は名を『おつう』と名乗りました。

